

職員がSDGs研修会

焼津市 理念や取り入れ方学ぶ



焼津市は30日、職員研修会を市役所で開いた。約80人が参加し、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念や、施策への取り入れ方について学んだ。

芝浦工大システム理工学部の中口教授（三島市出身）が講師を務めた。

中口教授は「子ども
の貧困やプラスチック
ごみなどの地域課題
は、SDGsが掲げる
17の目標のいずれかと
結び付いている」と指
摘した。その上で、自
治体を取り組む意義に
ついて「部署の垣根を
越え、複合的な政策推
進や課題の同時解決を
生み出すことができ
る」と強調した。

愛媛県内子町や北海
道下川町など全国の先
進事例も紹介した。

職員は職場ででき
るSDGsの取り組
みをシートに記入し、

2019年7月31日朝刊

①記事中から「SDGs」を日本語で書いた部分を見つけ、9字で書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

②記事中の「中口教授」は地域の課題とSDGsがどのように関連していると話したのか。記事中の当てはまる文の右側に線を引きなさい。

③記事にあるように、焼津市の職員は「職場でできるSDGsの取り組み」を考えた。それに対して、「中学校で取り組めるSDGs」としてはどのようなことが考えられるか。「SDGsの17の開発目標」を調べ、その中から1つを選び、その「番号(1～17)」と選んだ目標に関する「中学校でできるSDGsの取り組み」の例を考え、20字以上30字以内で書きなさい(句読点を含む)。

選んだ目標の番号 ()

20字

30字

年 組 名前